

釧路市教育委員会 令和3年第1回1月定例会会議録

- 1 日時：令和3年1月27日（水）13時30分から14時00分まで
- 2 会場：釧路市教育委員会室
- 3 出席者
岡部義孝教育長
（教育委員）
山口隆委員、松尾千穂委員、種村俊仁委員、小出美貴子委員
（事務局）
大坪学校教育部長、津田生涯学習部長、大山教育指導参事、
江縁学校教育部次長、高嶋学校教育部次長、工藤生涯学習部次長、
及川総務課長、富田総括指導主事、澤口生涯学習課長、
中村動物園長、牧野阿寒生涯学習課長
- 4 議事録署名人 種村委員、松尾委員
- 5 傍聴人数 0人
- 6 提出案件

【公開案件】

報告事項

- (1) 市立小中学校における卒業式の開催について
- (2) 第15回全日本少年アイスホッケー大会（中学生・男子の部）の中止について
- (3) 台湾台北市立動物園の外務大臣（日本）表彰受賞について
- (4) 学校の現状について
- (5) 2021くしろ20歳のつどいの日程について

【公開案件】 報告事項

(1) 市立小中学校における卒業式の開催について

(富田総括指導主事)

3月に実施予定の卒業式について、令和元年は十分な感染予防をした上で実施したが、引き続きコロナ渦にある今年度においても校長会と話し合い、次のように実施予定である。

まず卒業生にとって大事な式となることから十分卒業生のことを考え行い、実施にあたっては感染症対策を徹底していくことを念頭に置く。出席者は卒業生、保護者、教職員を基本とし、来賓はなしとする。ソーシャルディスタンスが十分に保たれる場合は 在校生の出席も可能とする。式典の内容についても、全体の時間を短縮するよう努めるとともに、式典最中の換気等も十分行うこと、通常行われている式歌、呼びかけの実施、終了後の学級活動についても感染症対策を考慮し実施の検討をするようお願いしている。場合によっては、オンラインにより別会場で保護者が参加することや、学級活動においても教室に保護者が入ることが難しいことから、学級活動の様子を別室で見ることができるようにするなど各学校で工夫して実施していただきたいと考えている。

◎この報告について、各委員から次のとおり発言あり。

(岡部教育長)

卒業式の日程はいつか。

(富田総括指導主事)

中学校が令和3年3月15日(月)、小学校が令和3年3月19日(金)である。

(山口委員)

在校生の参加について、どのくらいの規模の学校が可能であると考えているか。

(富田総括指導主事)

ソーシャルディスタンスが1メートル以上取ることができれば可能と考えている。

(山口委員)

在校生の参加の有無について、学校間での対応が違うことで問題はないか。

(富田総括指導主事)

卒業生の保護者が参加できるかどうかはかなり大きな問題になるかと思うが、在校生の参加についてはそれほど問題はないかと考えている。まず卒業生を第一に式典を実施できればと思う。

(松尾委員)

在校生が参加しない場合は、休みになるのか。卒業証書の授与については一人一人行われるのか。

(富田総括指導主事)

在校生の参加がない場合は休みである。卒業証書の授与については、学校毎の検討となる。

壇上で渡す、校長が卒業生の席を回る、人数が多ければ代表の児童生徒の授与となる場合も考えられる。

【公開案件】報告事項

(2) 第15回全日本少年アイスホッケー大会（中学生・男子の部）の中止について

（工藤生涯学習部次長）

令和3年3月25日（木）から29日（月）に予定されていたが、昨年につき2年連続での開催中止となった。新型コロナウイルスの感染拡大が未だ収束の見通しが立たない中、大会開催の可否について、実行委員会や関係機関と協議を行ってきたところ、全国各地から来鉚される選手並びに関係者の健康と安全確保を第一に考えると大会の開催は非常に厳しく、残念ではあるが、中止せざるを得ないとの判断がなされたことから、令和3年1月12日付で報道発表させていただいたところである。

今後は、同大会のみならずwithコロナ、ポストコロナにおけるスポーツイベントの開催について、検討・研究に努めていきたい。

◎この報告について、各委員から次のとおり発言あり。

（山口委員）

今回の中止について異存ないが、アイスホッケーの鉚路というイメージを大切にするためには必要な大会であると思うので、今後明るい見通しで考えてほしい。

（工藤生涯学習部次長）

努力していきたい。

【公開案件】報告事項

(3) 台湾台北市立動物園の外務大臣（日本）表彰受賞について

（中村動物園長）

2011年、中華民国建国100年の年に、鉚路市動物園と台北市立動物園との学术交流を目的に、鉚路市からタンチョウのつがい「ビックとキカ」を、ジャイアントパンダと同等の最高レベルでの受け入れ態勢の下、貸与したところである。

また、2019年10月には、鉚路市から市長、市議会議員、教育長をはじめ、21名が出席する中、ビックとキカの新展示場のオープニングセレモニーが盛大に挙行されるなど、日本の特別天然記念物「タンチョウ」の飼育にかける思いが窺われたところである。

一方、同園では、かねてから天然マリモの貸与を希望していたことから、人工マリモの試験育成を経て、タンチョウのオープニングセレモニーに合わせ、天然マリモ4個を貸与し、現在も常設展示が行われている。

このように、タンチョウとマリモを展示し、釧路市との間で学術交流が行われている中、同園が日本の動植物の展示を通し、両国の相互理解促進に貢献した功績から、昨年12月1日付で日本の「外務大臣表彰」を受賞したところである。

今後も、タンチョウとマリモを架け橋に、学術・文化交流を促進させながら、釧路市の魅力を発信してまいりたい。

◎特に意見は、なし。

【公開案件】 報告事項

(4) 学校の現状について

(大山教育指導参事)

短い冬休みが終わり、3学期が始まった。その週の金曜日には暴風雪による臨休があり、3連休中はコロナの対応と、慌ただしいスタートとなったところである。

今後もコロナの感染状況や暴風雪等、心配はあるが、年度末に向けてやるべきことを確実に進めていきたいと考えている。

1点目、文科省より「デジタル教科書実証事業」についての案内があった。文科省では、デジタル教科書の無償提供に向けて実証実験を行うということであり、市教委でも参加することとした。条件として、参加校が半数と限られており、教科も色々な教科を使うようにとのことなので、校長会と協議し各校に希望をとり、調整させていただいている。参加校が半数と限られているため、成果と課題は校長会で共有したいと考えている。

2点目は、12月に実施した「釧路市標準学力検査」について1月28日頃結果が届く予定であり、各学校には3点お願いをしている。1点目は経年変化による1年間の成果と課題を確認すること、特に成果があった場合は先生の努力を認めて欲しい。2点目は定着度の低かった指導内容については年度内に指導し、今年度から「仕上げシート」にて提出すること、3点目に来年度の学力向上プランを作成するようお願いした。

なお、令和3年2月15日(月)から各学校の担当者と指導主事が学力向上プランの協議を行う予定である。

3点目の自殺予防教育について、今年度は、全国の児童生徒の自殺者数が前年度同期の倍以上になっているという報告があった。そのため、道教委から資料「今すぐ、全ての学校で取り組んでいただきたい自殺予防教育」が送付され、各校に指導をお願いした。特に観察や声掛けなど教職員全員できめ細かい対応をお願いしている。

4点目は、コロナ対策と手洗いについて、各学校の努力で校内での感染が確認されていない。そのことに感謝するとともに、今後も継続して取り組みをお願いした。その中で、小学校低学年の児童への手洗いの配慮や感染予防のために設置したレバー式の蛇口の使い方について再度説明するようお願いした。

最後に、全国に広がっている非常事態宣言を受け、本州からお招きする講師の講演につい

て、オンラインで実施できるか検討していたが、中止の判断となった講演がある。

今回の校長会の後、午後から「学校経営研究協議会」を開催し、提言が3本あり積極的な協議が行われた。

◎この報告について、各委員から次のとおり発言あり。

(山口委員)

釧路市標準学力検査の件について、大切にしなければならないのは客観的な検証と検証に基づく改善の手順である。各学校の学力向上プランをより確かなものにしていく有意義な取組みとなるよう配慮してもらいたい。

(小出委員)

コロナ対策の手洗いについて、小学校では給食の前や休み時間に先生の指導で手洗いをしていると聞いている。今年はインフルエンザがほとんどないのは、手洗いを先生の指導の努力と子ども達もしっかり行ったおかげかと思う。レバー式の蛇口というのは、新たに設置されたものなのか。

(大山教育指導参事)

その通りである。

(種村委員)

中学3年生は3月に入試を控えており、新型コロナウイルスにより臨時休校があった影響で、単元が定着していないのではないかと懸念されるが実態はどうか。

(大山教育指導参事)

我々も心配しているところであり、12月に行った釧路市標準学力検査の実施結果により不十分な内容が明らかになる。今回より各校に仕上げシートの提出をお願いしており、定着に向けての状況もわかるようになっている。

(種村委員)

来年度より教科書が変わり、内容も難しくなるようであり、入試内容も変わる。対応できるような力をつけるよう対策が必要である。

(富田総括指導主事)

例えば学年が上がったときの学びもれについては各校と連携をとりながら進めていきたい。また、中学校評価の観点が変わることから、12月に評価についての研修会を各中学校へ向け実施したところである。教科書については、学校により旧教科書を使う学校もあるため、もれのないように進めていきたい。

(岡部教育長)

今年度、全国学力学習状況調査が中止になったが、釧路市では標準学力検査を独自事業として継続してきたことが、定着度を図るという意味で功を奏したと思う。検証を踏まえ、学校のプランを指導主事が入った中で見直していくというサイクルで、学びもれがないよう努めていくということである。

(松尾委員)

市民環境部からの出前授業の要請について、学校でも環境教育に取り組んでいると思うが、もっと現場を見た方が子ども達に伝わると思う。例えば、ごみについて実態を知ると処理がどれだけ大変かわかると思う。子どものうちから環境教育が必要だと思うので、積極的に活用してもらいたい。

(富田総括指導主事)

郷土読本の中でも環境教育に触れており、中学校を中心にごみ処理場や浄水場に行っている。小学校だとエコキャンドルを作る出前授業などの利用をしている。次年度以降の内容についてはまだわからないので、明らかになれば連携して取り組んでいけたらと思っている。

【公開案件】 報告事項

(5) 2021くしろ20歳のつどいの日程について

(澤口生涯学習課長)

「2021くしろ20歳のつどい」については、前回の定例教育委員会にて開催を延期し、日程を未定として承認をいただいたところである。延期にあたっては国において、「Go To トラベル」が令和2年12月28日(月)から令和3年1月11日(月)までの間「全国一斉に一時停止する」との方針が示されたことなどから、「20歳のつどい」の開催を延期したところであり、現状も厳しい状況にある。しかしながら、新成人の方などから、できる限り早く延期した日程を示してほしいとの要望が寄せられており、これまで感染状況を踏まえながら検討してきた。市教委としては一生に一度の成人式であることから、より多くの方に参加していただきたいと考え、帰省しやすい時期や関係団体の状況からお盆の時期が一番良いとの判断をした。市や関係団体とも調整をし、令和3年8月14日(土)午後3時から開催し、場所や内容については当初の予定通り行うこととする。ご承認の後、速やかに市のホームページやフェイスブック等を通して周知してまいりたい。

今後の新型コロナウイルス感染状況を見極めていくことになるが、生涯学習課として一生に一度の成人式が実施できるよう、新型コロナウイルス感染症対策を万全に施し、準備を進めてまいりたい。

◎この報告について、各委員から次のとおり発言あり。

(山口委員)

参加者のスケジュールや新型コロナウイルスの感染状況を考えると妥当な日程だと思う。他自治体において、釧路市と同様に延期した自治体はどのような見通しか情報はあるか。

(澤口生涯学習課長)

延期した自治体について、多くはゴールデンウィークやお盆期間であると聞いている。自治体同士で情報交換をしながら進めているところである。

(松尾委員)

午後 3 時から開催するのはなぜか。

(澤口生涯学習課長)

関係団体等と相談し、着付時に密にならないよう例年より 1 時間遅くしたものである。